

早稲田アカデミー	6年							
	算数							
学習内容	1回 文章題(1)2回 数・規則・論理(1)3回 図形(1)4回 文章題(2)							
家庭学習ポイント	1回「文章題（１）」では和差算・差集め算・平均等といった特殊算を学びます。もちろんすでに習っていないことはない、という状態ですから、ひたすら演習し、答え合わせと解説の中で自分に足りなかったものに気づいて補強することの繰り返しになります。2回「数と規則（１）」では約数・倍数・分数などの総まとめとなります。倍数、約数の分野であれば「○○で割ると□□あまり、△△で割れば・・・」といった問題は小問形式の出題では頻出、規則性も同じくさまざまなパターンの問題を、自分なりに頭の中のデータベースに整理しておく必要があります。予習シリーズ下巻の算数は、その作業だと考えましょう。（より実戦的な力を鍛えるのはNNですね）3回「図形（１）」では角度・面積・図形の移動などを扱います。こちら、扱われる問題はどれも入試頻出です。もちろん難関校ではテキストの問題が「そのまま」の形で出ることはあまりありませんが、それらを集めて発展させた形で出題されるため、いつどのような形で出題されても即座に頭の中から引き出せるように整理・準備しておくことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	6年後期の「予習シリーズ」の役割を理解していますか？						チェック
	解決策	基本知識がどのような形で出題されても、即座に頭の中から引き出せるように整理することです						□
	チェック2	演習授業の学習サイクルに慣れましたか？						チェック
	解決策	6年後期の学習の「予行練習」が夏期講習でしたが、リズムが掴めたでしょうか						□
	チェック3	それぞれの分野の問題について「定番」となる書き方や整理のしかたを守っていますか？						チェック
	解決策	「まずは定石通りに作業、整理する」ことで頭がクリアになり考えが進むものです						□
	チェック4	答え合わせ、解説から学ぶことができていますか？						チェック
	解決策	この時期からは特にすることが多いですが「解きっぱなし」にならないよう気をつけましょう						□
	チェック5	初見の問題への対応力がついてきていると感じますか？						チェック
解決策	演習授業のサイクルがうまく回っていると、だんだんついてくるものです						□	
早稲田アカデミー	6年							
	国語							
学習内容	1回 〔選択肢〕の問題① 主語・述語・修飾語 和語①2回 〔選択肢〕の問題② 文の基本型・文の組み立て 慣用句①3回 〔短い記述（30～60字）〕の問題 品詞分類表・品詞判別 三字の熟語① 4回 〔長い記述（80字以上）〕の問題助動詞の意味・用法を中心に 四字の熟語①							
家庭学習ポイント	第1回では主語・述語・修飾語について、第2回では文の基本型・文の組み立てについて注目しながら、読解を進めます。第3回からは記述問題を中心に実戦的な書き方、まとめ方の授業となります。言語知識としては、和語や慣用句、品詞の分類と判別、三字熟語・四字熟語について復習していきます。もちろん平日の授業、NNなどにも語彙の学習は常に含まれますが、自分でもコツコツと「スキマ時間」を活用して積み上げていく努力を続けることが大切です。宿題や過去問の答え合わせ時に、知らなかったこととの関連を少し広く覚えるなど、小さな努力が大きな結果につながります。予習シリーズや演習問題の読解問題に関しては、合不合や志望校の入試問題の過去問だと思って臨み、時間内に正解させられる問題を増やしていきましょう。その意味では宿題などにも「制限時間」を自分なりに設定し、集中力を高める工夫をして取り組むことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	毎回の「テーマ」を意識して読解に取り組んでいますか？						チェック
	解決策	文種によって使う解法知識を意識して取り組みましょう						□
	チェック2	授業で解く問題1つ1つに関して「学び」を感じていますか？						チェック
	解決策	解くことと同じくらい、答え合わせや解説から学ぶことが重要です						□
	チェック3	説明文・論説文では事実と筆者の考えを区別して読んでいますか？						チェック
	解決策	説明文・論説文の読解では「定番」の技術ですね						□
	チェック4	語彙を増やすための努力は続けていますか？						チェック
	解決策	語彙の学習は入試直前まで（入試当日も含める）くらいの意識で続けましょう						□
	チェック5	家庭学習でも制限時間を設定するなど工夫していますか？						チェック
解決策	集中し「必ず正解する」という気持ちで1つ1つの問題に取り組むことが大切です						□	

早稲田アカデミー	6年			
	理科			
学習内容	1回 生物1（植物） 2回 地学1（天体） 3回 物理1（力学） 4回 化学1（水溶液）			
家庭学習ポイント	1回「生物1（植物）」を、第2週に合不合判定テストをはさみ、2回「地学1（天体）」を学習した後は3回「物理1（力学）」4回「化学1（水溶液）」を学習します。どの回も、特定の単元に特化した授業としては最後になるため、知識の最終確認授業になります。1回の学習範囲は膨大で、かなり家庭学習も大変な状況になるかと思います。この段階では「解く→解いたものから学ぶ」をどんどん繰り返すしかないので、このサイクルに無駄が出ないように工夫することが大切です。たとえば天体単元は、合不合判定テストを含め、入試でも頻出ですから、合不合判定テスト前に予習シリーズ・夏期講習教材・四科のまとめを活用して総復習を行ってから臨むなど、テスト週もムダにしない工夫ができそうです。また2回「物質の変化」、3回「いろいろな生物」の内容についてあやふやな点や知識の抜けがある自覚があるなら、合不合判定テストの直しがてら、ざっと知識部分の確認、覚え直しを4科のまとめで行うなど、少しの時間で工夫できそうなこともあるでしょう。時間の無駄をなくす工夫を行いましょう。			
課題の把握と解決策	チェック1	次の授業で扱う単元について、知識面の不安などがありますか？		チェック
	解決策	あるなら「4科のまとめ」などで知識を補充して臨みましょう		☐
	チェック2	授業で解く1問1問から「学び」を感じていますか？		チェック
	解決策	授業もテストも過去問演習もすべて「解く→解いたものから学ぶ」をどんどん繰り返しましょう		☐
	チェック3	宿題演習でも時間を計るなどの工夫をしていますか？		チェック
	解決策	理科だけではなくですが「集中力をアップする」ための工夫です		☐
	チェック4	第一志望校の出題傾向が大まかにはわかっていますか？		チェック
	解決策	授業で問題を解く際にも「自分の志望校だったらどのような出題になるだろう」と考えましょう		☐
	チェック5	知識分野の学習はコツコツ続けていますか？		チェック
	解決策	「ルーティン」の学習としての知識学習は入試直前、当日まで続けましょう		☐
早稲田アカデミー	6年			
	社会			
学習内容	1回 都道府県と地形図 2回 人物でみる歴史 3回 日本の政治 4回 歴史をささえた民衆			
家庭学習ポイント	地理・歴史・公民の総復習が続きます。1回は地理分野で「都道府県と地形図」、合不合判定テストをはさんで2回は歴史分野「人物でみる歴史」、3回は公民分野「日本の政治」です。理解して使える用語を増やしていく勉強です。問題を解いただけでは、力がついていきません。解けなかった問題については「次回確実に正解させるために、覚えておくべきことは何だろう」と考え、それを覚えましょう。そうやって1つ1つ答えられる問題を増やしていけば、おのずと合格は近づいてきます。一日の終わりに「今日は何を覚えただろう？」と自問してみましょう（親御さんが聞いてあげてもいいですね）。このときすぐにいくつかの返答が思い浮かぶ学習を心がけてください。苦手な分野がある程度明確になっているのであれば、闇雲に問題を解くよりも、過去の予習シリーズの内容をきちんと理解し直した上で「四科のまとめ」の該当範囲を解くとよいでしょう。この時期ですから単元限定でプロの家庭教師や個別指導を活用するのも1つの方法です。			
課題の把握と解決策	チェック1	合不合判定テストの直しの予定は立っていますか？		チェック
	解決策	すべての問題、テストについて「解きっぱなし」にならないよう注意しましょう		☐
	チェック2	次回の授業について、知識の不安を感じることがありますか？		チェック
	解決策	あるなら「授業で知識をつけよう」と考えず、あらかじめ「4科のまとめ」で知識補充をしましょう		☐
	チェック3	社会の全分野のうち極端な「弱点」「不得意」はありますか？		チェック
	解決策	どうしても苦手が解決しない場合「個別に習う」という手段も検討しましょう		☐
	チェック4	宿題演習でも時間を計るなどの工夫をしていますか？		チェック
	解決策	家庭学習においても集中力をアップする工夫です		☐
	チェック5	平素からコツコツと知識の学習はできていますか？		チェック
	解決策	社会では特に「入試当日の朝までが知識力アップの期間」と心得ましょう		☐